

CIVITAS FORUM 2015 とアーヘン市の取り組み

A Report of CIVITAS Forum 2015 in Ljubljana and the CIVITAS DYN@MO Project in Aachen

荒井祥郎* 加藤昌樹**

By Yoshiro ARAI and Masaki KATO

1 はじめに

CIVITAS (City-VITALity-Sustainability) は、欧州委員会のモビリティ・運輸総局が実施する持続可能な都市交通政策プログラムであり、環境や持続可能性といった課題について、交通政策や都市再生の分野で先進的な取り組みを行う都市をEUが支援するものである。CIVITASは、2002年～2006年のCIVITAS Iから始まり、現在は、4期目のCIVITAS Plus II (2012～2016年) において、「DYN@MO」と「2 MOVE 2」の2つのプロジェクトが実施されている。CIVITASへの参加都市はこれまでに69に上り、700以上の施策が実施されており、CIVITAS Forumと呼ばれる年1回開催の報告会において情報交換が行われている。

本稿では、2015年10月にスロベニアの都市リュブリャナ市で開催されたCIVITAS Forum 2015の概要と、「DYN@MO」の参加都市であるアーヘン市（ドイツ）の取り組みについて紹介する。

出典) CIVITASウェブサイト¹⁾

図-1 CIVITAS参加都市

2 CIVITAS Forum 2015 の概要

CIVITAS Forum 2015は、「Sharing the City ～都市をシェアする」というテーマで、2015年10月7日～9日の3日間、リュブリャナ市で開催された。全体セッションに引き続き、22のセッション（分科会）において各都市の取り組みの紹介や意見交換がなされた。

表-1 CIVITAS Forum 2015 セッション概要¹⁾

#	タイトル
1	コミュニティサイクルの新しいトレンドが都市を変える
2	各都市におけるマルチモーダルと行動計画
3	CIVINET全国ネットワーク：知見と成功体験
4	オープンデータが都市のモビリティを高める
5	各都市におけるe-モビリティの促進方法
6	都市の貨物輸送についての新しい計画
7	e-バス：新しいトレンド、市場の取り込み、今後の可能性
8	統合モビリティ計画のためのツール
9	CIVINETスロベニア・クロアチアセッション：ユーティリティサイクリングとSAVAバイクプロジェクト
10	ヨーロッパにおけるシェアードスペースの実施～促進要因と阻害要因
11	CIVITAS WIKIとCIVITAS CAPITALからの政策提言
12	都市のモビリティ計画についてのローカルな資金調達計画
13	ヨーロッパ以外における持続可能な都市のモビリティ
14	持続可能な都市のモビリティのインフラ計画
15	モビリティ・マネジメントの実施
16	都市の利便性を高めるためのエネルギー・交通・ICT統合インフラ
17	長距離移動と都市拠点：ヨーロッパの最新動向
18	代替エネルギーインフラ指令：枠組構築の際どうすれば都市は国の当局に影響を与えられるか
19	次世代のための都市のモビリティ
20	都市のモビリティへのEUの出資可能性
21	会社におけるモビリティ・マネジメントのトレーニング
22	都市のためのより包括的なモビリティ方策



写真-1 セッション（分科会）の様子

ホスト市のリュブリャナ市は、持続可能な交通の促進の取組を表彰する European Mobility Week 賞を2度受賞した唯一の都市であり、2016年の European Green Capital にも選ばれている。シェアードスペースのセッションでは、中心市街地の目抜き通り（4車線道路）を空間再配分してトランジットモール化した同市の取組について発表された。

このプロジェクトは2007年に始まり、市民参加の下で、ビジョンの検討、路上での様々なアクティビティやプロモーションの実施、トランジットモール化の社会実験などを経て2015年に実現化された。

トランジットモール化に至るプロセスに特記すべきことはない。しかし、このプロジェクトは、歩行者や自転車にとって安全で居心地の良い空間を創出すべくリュブリャナ市中心市街地のパブリックスペース全体を再構築するコンセプトを先に策定し、そのパイロットプロジェクトとして位置づけて、他の施策と連動して実施してきたことに意義がある。

このように、都市空間全体の再構築を念頭に、個別プロジェクトを精力的に取組む姿勢が前述の各種表彰に繋がっていると考えられる。



出典) リュブリャナ市発表資料²⁾ をもとに作成

図ー2 リュブリャナ市の道路空間再配分の事例

3 アーヘン市の取り組み

アーヘン市は、ドイツの西部に位置する都市で、人口は25万人、面積は160km²、西側でベルギー・オランダに接している。市内の1.6万の職場の従業者54万人のうち約半数は周辺の自治体からの通勤者が占めている。アーヘン市は、周辺9市町村と形成しているアーヘン都市圏の中心都市である。

2012年～2016年のCIVITAS Plus II 期間における「DYN@MO」プロジェクトには、アーヘン市（ドイツ）、グディニャ市（ポーランド）、パルマ市（スペイン）、コプリヴニツァ市（クロアチア）の4都市が参加している。4都市共通の考えとして、次の3つのテーマを設けている。

①持続可能な都市交通計画

②e-モビリティ（クリーンなモビリティ）

③ICTを活用したモビリティ

以下では、これら3テーマに係るアーヘン市の取り組みについて、市担当者へのヒアリングにもとづいて整理する。

（1）持続可能な都市交通計画

アーヘン市は、20年ぶりに総合的な交通計画の改定を行っており、現在一連の計画策定作業中である。この計画は“SUMP”：Sustainable Urban Mobility Planning「持続可能な都市交通計画」と呼ばれており、4つの段階で検討が進められている。

第1段階では、2050年モビリティ・ビジョン（Vision Mobilität 2050）を策定し、市民に対して将来のモビリティのイメージを伝える冊子としてとりまとめた。EUの方針では、2050年までに化石燃料を使った自動車を都市内からなくすこととなっており、これに準じた内容となっている。2016年には、中心市街地に環境ゾーンを設定し、環境性能に優れた自動車しか入れないようになる。2050年のモビリティ・ビジョンは、住民投票も行い、全党に支持されて議会で可決されており、市民と共有されている。

続いて、第2段階では、2030年までの戦略を立案する。第3段階では、2017年以降の政策、予算、効果について検討する。第4段階では、モビリティに関する報告書を作成する。以上のように、遠い将来から近い将来へという流れで策定を進めている。

(2) e-モビリティ

アーヘン市内は路線バス網が張り巡らされている。路線バスの車両は、HV（ハイブリッド）からEV（電気自動車）に転換すべく実験に取り組んでいる。また、市内の小売店はEVを用いて消費者への当日配達を実施している。また、市では、EVによる実験への補助金を負担し、現在市の自動車の5%がEVになっている。また、市民が自動車を購入する際、e-モビリティが選択肢となるようにすることが重要と考えられている。

(3) ICTを活用したモビリティ

アーヘンの運輸連合は、ICTによるコミュニケーションに力を入れており、マルチモーダルなプラットフォームを作成している。これを用いて、市民は、情報の入手、切符の予約、購入ができる。2016年からはスマートカードも導入予定である。

Facebookの「Aachen Clever mobil」のページ及び冊子では、市民に対して移動に関する情報提供を行っている。自動車以外の交通手段を便利にするため、自転車、カーシェアリング、レンタサイクル等の情報を掲載しており、市民が環境にやさしい交通手段をいつでも選択できるように考えられている。



図-2 「Aachen Clever mobil」の提供情報例³⁾

なお、蛇足になるが、アーヘン市はドイツの地方中枢都市にしては珍しくトラム（路面電車）が無く（住民投票による反対多数でトラムの導入が否決された経緯がある）、バスを中心とした公共交通システムが構築され、

中心部は自転車や歩行者が移動しやすい環境が整えられている。中心市街地は（平日の昼間訪れた印象だが）、わが国の同規模の地方都市とは比べものにならないほどの活気やにぎわいに溢れており、まちづくりや都市・交通計画について学ぶべきヒントが多くありそうである。



※駅のバイクステーションではスポーツタイプの電動アシスト自転車をはじめ様々なタイプの自転車を貸出している

写真-2 アーヘン市担当者による街中案内の様子

4 おわりに

今回、CIVITAS Forum 2015の参加やアーヘン市への訪問を通じ、わが国における「コンパクト+ネットワーク」型都市構造や環境にやさしいモビリティ等の実現に向けたヒントとして、ビジョンやコンセプトを市民と共有・共感する重要性や、環境にやさしい交通手段選択を市民自らが行えるような施策に積極的に取り組む行政の姿勢や熱意を肌で感じることができた。

今後とも諸外国における先端的な取組に関する情報を収集するとともに、わが国からの情報発信等も含めて、継続的・積極的に取り組んでいきたい。

参考文献

- 1) CIVITAS Webサイト (<http://www.civitas.eu/>)
- 2) "Shared space - reinventing public space in Ljubljana", Session 10: Implementation of shared space areas in Europe, CIVITAS FORUM 2015
- 3) Aachen市資料及びWebサイト (<http://www.aachen.de/>)